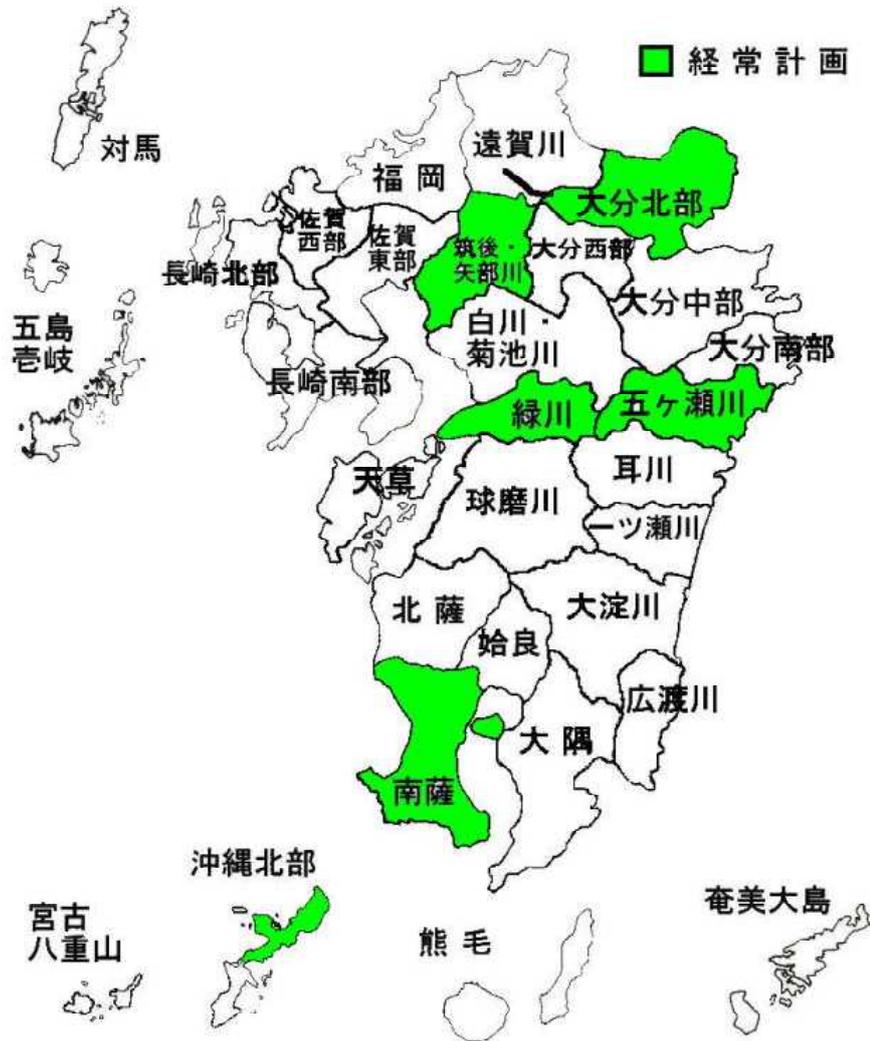


地域管理経営計画(案)等の概要

平成26年1月
九州森林管理局

新たに計画を策定する森林計画区（6計画区）

- 福岡県「筑後・矢部川」
- 熊本県「緑川」
- 大分県「大分北部」
- 宮崎県「五ヶ瀬川」
- 鹿児島県「南薩」
- 沖縄県「沖縄北部」



これら6森林計画区について、今後5年間（平成26年度～平成30年度）の国有林野における管理経営に関する基本的な事項等を定める地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画を策定します。

計画内容のポイント

1 計画策定に当たっての基本的な考え方

国有林野の管理経営に関する法律に定める管理経営基本計画に即すとともに、森林法で定める国有林の地域別の森林計画とも調和させながら、民有林行政や地域振興への寄与、林産物の供給にも配慮しつつ、森林の有する公益的機能の維持・増進に重点を置き、開かれた「国民の森林」の実現に向けた取組を推進します。

このため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、次の5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行うこととしています。

○ 山地災害防止タイプ

土砂の流出・崩壊・落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林。

○ 自然維持タイプ

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮すべき森林。

○ 森林空間利用タイプ

スポーツ又は、レクリエーション、教育文化、休養等の活動の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林。

○ 快適環境形成タイプ

騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等人間の住環境を良好な状態に保全する機能を発揮すべき森林。

○ 水源涵養タイプ

国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林。

自然維持タイプ



森林空間利用タイプ



水源涵養タイプ



山地災害防止タイプ



快適環境形成タイプ



2 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生の推進

民有林・国有林一体となった森林共同施業団地の設定、低コスト作業システム導入に向けた検討会の開催等を通じ、国有林が先導的な立場に立った流域管理システムを推進し、地域の森林・林業再生に貢献することとしています。



3 地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策については、引き続き、間伐の実施を促進するとともに、主伐後の確実な再造林も含めた造林の実施を促進することとしています。
さらに、間伐により生じた木材（間伐材）の有効利用を図ることとしています。



4 多様で健全な森林の整備・保全の推進

国有林野の管理経営に当たっては、適切な間伐の実施、針広混交林化、複層林化、里山の積極的な整備など、地域の森林の現況に基づき、多様で健全な森林の整備・保全を推進することとしています。

5 生物多様性の保全の推進

森林生態系全般に着目して公益的機能の向上に配慮した管理経営を行うとともに、貴重な自然環境を有する天然林等については保護林として設定し、適切に保護・保全を図ることとしています。

※ 保護林とは

国有林独自の森林を保護する制度であり、森林生態系からなる自然環境の維持、貴重な動植物の保護、風致の保護等特に重要な区域について設定しています。

保護林の種類は、①森林生態系保護地域、②森林生物遺伝資源保存林、③林木遺伝資源保存林、④植物群落保護林、⑤特定動物生息地保護林、⑥特定地理等保護林、⑦郷土の森の7種類があります。

今回、計画を策定した森林計画区内にも多数設定されています。

6 安全・安心の確保に向けた治山対策の推進

豪雨や地震等による山地災害等を防止し、被害を最小限にとどめるため、流域全体の保全や地域の安全性を確保するための治山施設を設置することとしています。
また、近年多発している台風や集中豪雨などにより発生した被害箇所の迅速な復旧や、保安林機能の低下した森林等の整備など、災害に強い国土の形成に向け、計画的かつ効率的に事業を推進していきます。

防風、潮害防備保安林



7 国民参加の森林づくりの推進

「国民の森林^{もり}」としての管理経営を推進することとし、地域住民、NPO、学校、自治体など多様な主体と連携・協働して以下のような活動を推進することとしています。

① ふれあいの森

地域住民やボランティア等が植栽や保育等の森林整備を行う場としてフィールドを提供し、自主的な森林整備活動を推進。

② 遊々の森

学校等と協定を締結し、「総合的な学習の時間」の中で体験林業を行う場としてフィールドを提供し、森林環境教育を推進。

③ 巨樹・巨木の保全活動

国有林内に生存する巨樹・巨木を、国民共有の財産として地域の皆さんと将来にわたって保全。

④ このほか、多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森林づくりを推進。



8 低コスト・高効率な作業システムの推進

国土の保全、自然環境の保全等に十分配慮しつつ、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの推進及び定着を図ることとしています。

また、曲がり材等を含む間伐材については、需要先へ直送するシステム販売により新規需要開拓と安定的な供給を図るなど、林業・木材産業の活性化に向けて取り組むこととしています。

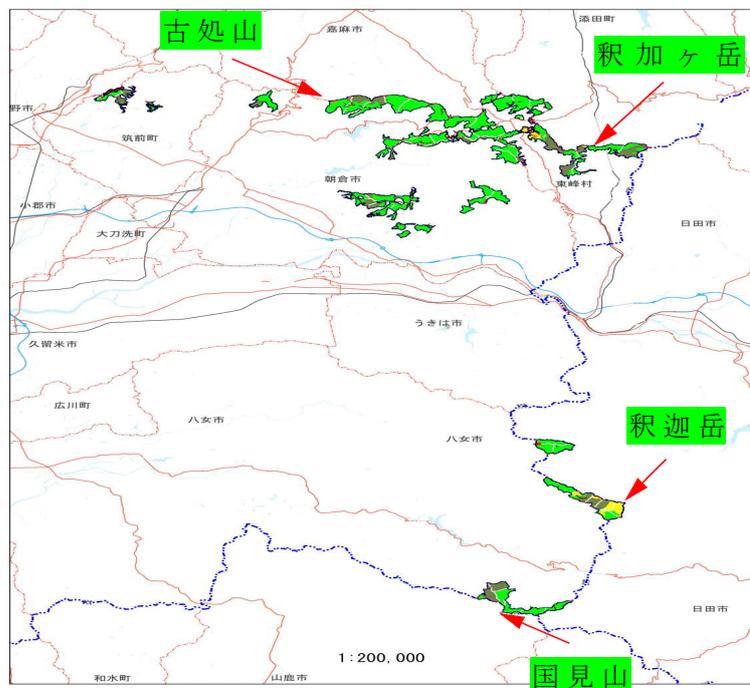
筑後・矢部川森林計画区の特徴

本計画の対象は、筑後・矢部川森林計画区を管轄区域とする国有林野4,026haであり、筑後川水系の小石原川等の上流山地並びに矢部川の源流部に位置しています。

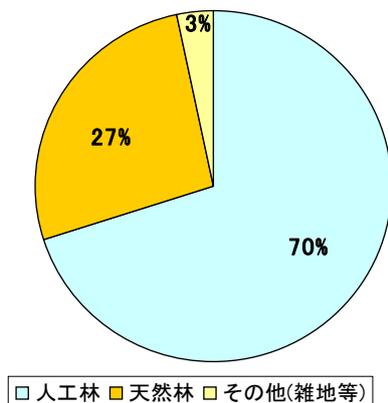
森林の現況は、人工林を主体とした育成林が2,857ha（育成単層林2,828ha、育成複層林29ha）、天然生林が1,031haとなっており、主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではクヌギ、ケヤキなどとなっています。林相別にみると針葉樹林2,554ha、針広混交林256ha、広葉樹林1,078haとなっています。

また、本計画区は、水源かん養保安林が全体の96%に達し、流域の治水対策、農業用水等の供給に重要な役割を担っているほか、渓谷、優れた森林景観など豊富な観光資源に恵まれており、森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されています。

森林計画区の国有林位置図



森林計画内の森林資源状況



主要事業量(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

区分	伐採総量 (千m ³)			更新総量 (ha)		林道事業 (km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備 (ha)	保全施設 (箇所)
計画量	56	85	12	196	2	9	5	366	55

緑川森林計画区の特徴

本計画の対象は、緑川森林計画区を管轄区域とする国有林野13,581ha（不要存置林野0.16haを含む。）であり、国有林野の大部分は、緑川の源流域に位置し、水源かん養保安林が90%以上に達し、宇城地区をはじめとする下流地域の水がめとして重要な役割を担っています。

森林の現況は、人工林を主体とした育成林が8,030ha（育成単層林7,455ha、育成複層林575ha）、天然生林が5,159haとなっており、主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、ツガ類、モミ、広葉樹では、ナラ類、ブナ、クリ、カエデ類などとなっています。林相別に見ると針葉樹林4,993ha、針広混交林4,655ha、広葉樹林3,979haとなっています。

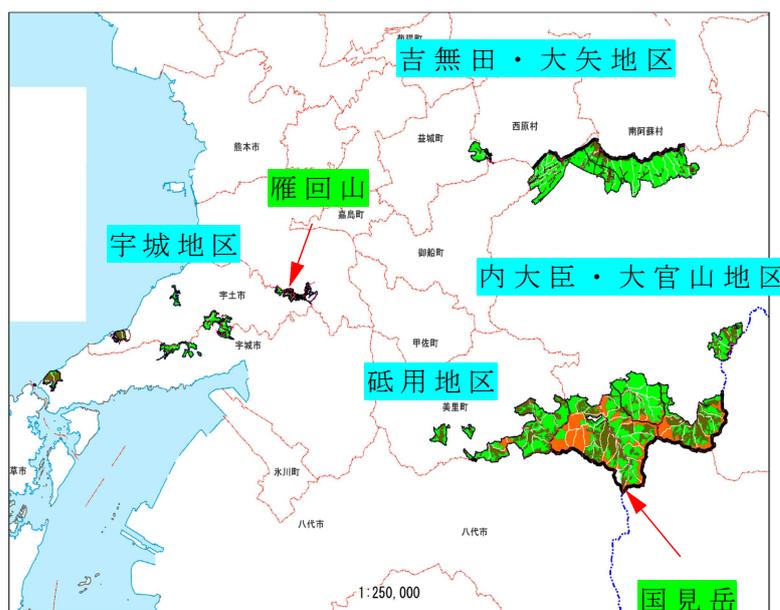
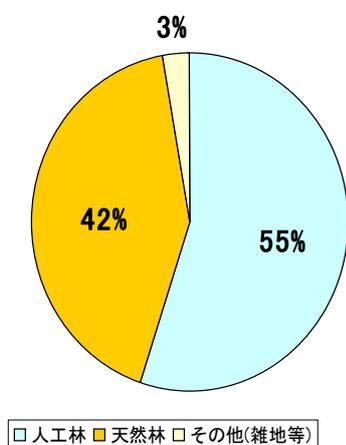
本計画区は、国見岳（1,739m）を主峰とする九州中央山地の稜線部に、九州中央山地森林生物遺伝資源保存林が設定されているとともに、九州中央山地国立公園に指定されています。

また、内大臣川周辺は、指定国内希少野生動植物種であるゴイシツバメシジミの保護を図るため特定動物生息地保護林を設定していることから、多様で貴重な動植物の保護と保全を図ることが重要となっています。

さらに、渓谷をはじめ優れた森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから登山等森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されているとともに木材加工業及びシイタケ生産も地域の重要な産業です。

森林計画区の国有林位置図

森林計画内の森林資源状況



主要事業量(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

区分	伐採総量(千m ³)			更新総量(ha)		林道事業(km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備(ha)	保全施設(箇所)
計画量	75	265	18	270	11	22	27	990	69

大分北部森林計画区の特徴

本計画の対象は、大分北部森林計画区を管轄区域とする国有林野6,441haであり、大分県の北部に位置し、別府市、中津市、宇佐市、豊後高田市、杵築市及び日出町の5市1町に所在しており、大部分は山国川、大分川及び駅館川等の源流部に位置しています。これら河川の源流部に位置する国有林野は、そのほとんどが水源かん養保安林を主体とした保安林に指定されており、下流部の中津市及び宇佐市等の水がめとして重要な役割を担っています。

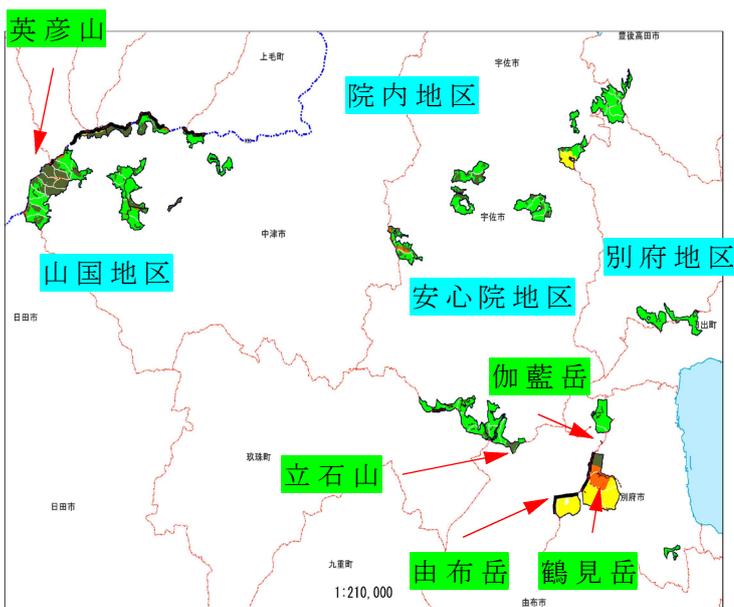
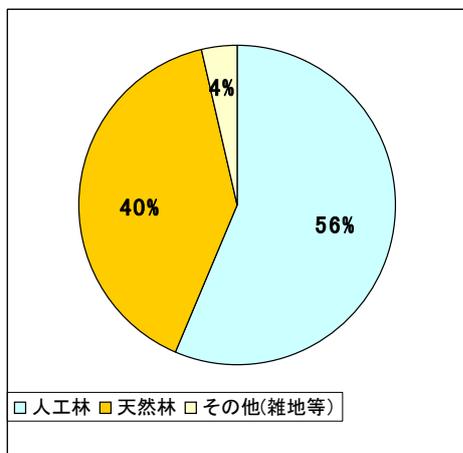
さらに、別府市の鶴見岳及び由布岳に位置する国有林野は、そのほとんどが土砂流出防備保安林に指定されており、山地災害の防止に重要な役割を果たしています。

森林の現況は、人工林を主体とした育成林が3,970ha（育成単層林3,624ha、育成複層林346ha）、天然生林が2,237haとなっており、主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではクヌギ、ナラ類、カエデ類などとなっています。林相別に見ると針葉樹林3,081ha、針広混交林879ha、広葉樹林2,247haとなっています。

また、本計画は英彦山系及び耶馬溪や鶴見岳・由布岳などの国有林野では、ブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹の天然林が保存されており、由布・鶴見岳自然休養林が設定されています。良好な自然環境が保全されていることから、耶馬日田英彦山国定公園や阿蘇くじゅう国立公園等にも指定され、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。

森林計画区の国有林位置図

森林計画内の森林資源状況



主要事業量(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

区分	伐採総量(千m ³)			更新総量(ha)		林道事業(km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備(ha)	保全施設(箇所)
計画量	67	202	16	122	12	28	7	187	26

五ヶ瀬川森林計画区の特徴

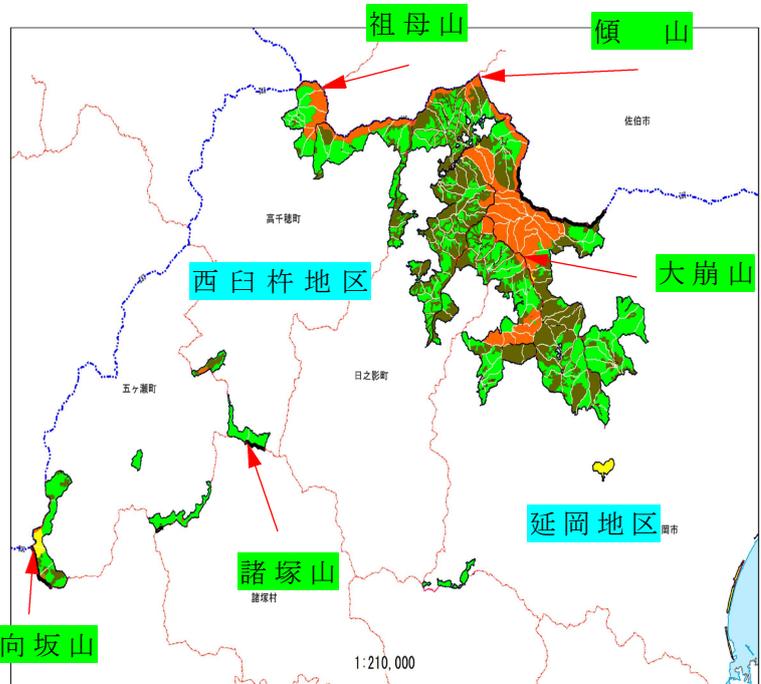
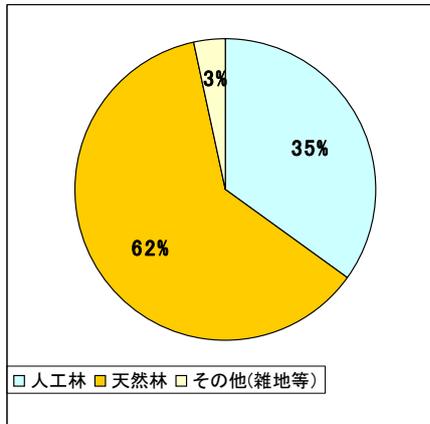
本計画の対象は、五ヶ瀬川森林計画区を管轄区域とする国有林野20,277ha（不要存置林野4haを含む。）であり、五ヶ瀬川水系の源流部に位置しています。森林の現況は、人工林を主体とした育成林が8,377ha（育成単層林7,001ha、育成複層林1,376ha）、天然生林が11,194haとなっており、主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではブナ、ナラ類などとなっています。林相別に見ると針葉樹林4,989ha、針広混交林7,353ha、広葉樹林7,842haとなっています。

本計画区には、祖母傾国定公園、九州中央山地国定公園の指定のほか、県立自然公園、県指定史跡名勝天然記念物の指定地もあり、自然環境の保全・形成、学術研究等に重要な役割を果たしています。

また、本計画区は、水源かん養保安林が全体の96%に達し、下流地域の水がめ、洪水緩和機能として重要な役割を担っているほか、渓谷、優れた森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから、登山など森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されています。

森林計画区の国有林位置図

森林計画内の森林資源状況



主要事業量(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

区分	伐採総量 (千m ³)			更新総量 (ha)		林道事業 (km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備 (ha)	保全施設 (箇所)
計画量	50	291	19	275	-	28	18	504	190

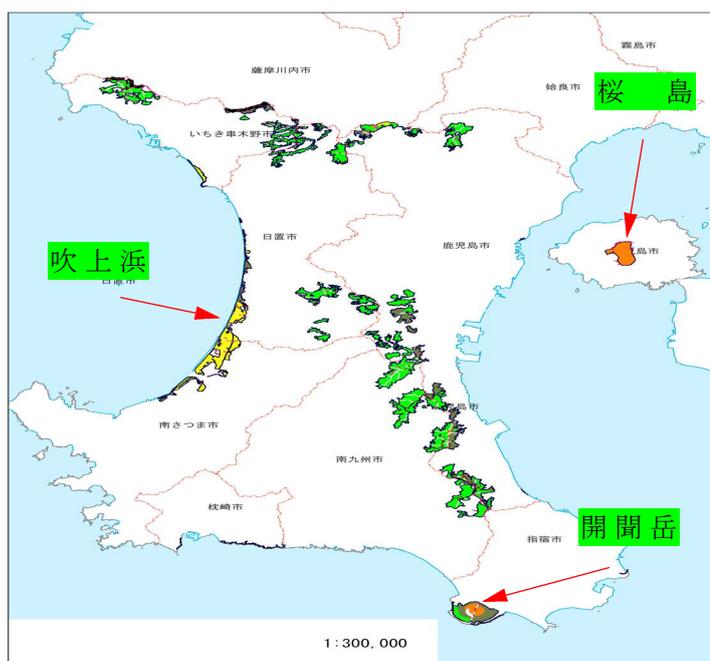
南薩森林計画区の特徴

本計画の対象は、南薩森林計画区を管轄区域とする国有林野9,968ha(不要存置林野4haを含む。)であり、薩摩半島及び鹿児島湾中央の桜島に位置し、薩摩半島の南北に300m～500m前後の基盤岩山地が分布し、また、火砕流堆積物からなる台地が発達しています。これらを境に東シナ海と鹿児島湾に注ぐ河川の源流部及び海岸周辺に位置し、八重山山系に属する日置北部と金峰山系を中心とした地域です。シラス地域には、幾つかの特有の地形が発達し、樹枝状で斜面の浸食が非常に進んだ、複雑な深い谷が発達しているところもあります。

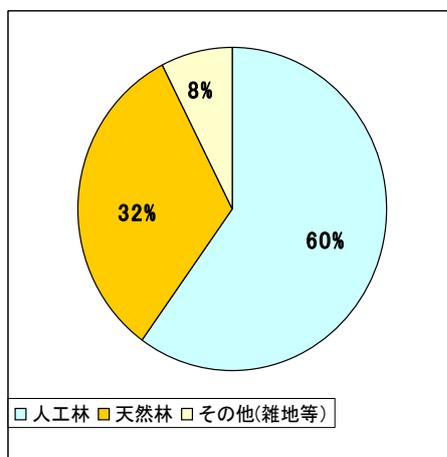
森林の現況は、人工林を主体とした育成林が6,322ha(育成単層林5,965ha、育成複層林357ha)、天然生林が2,880haとなっており、主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、クロマツ、広葉樹ではカシ類、シイ類、クスノキなどとなっています。林相別に見ると針葉樹林4,908ha、針広混交林1,841ha、広葉樹林2,453haとなっています。

また、本計画区は、日本三大砂丘の一つである「吹上浜」など長大な砂丘海岸線と優れた森林景観にも恵まれており、霧島錦江湾国立公園及び吹上浜県立自然公園等にも指定され、森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されています。また、森林資源を利用した木材加工業等も地域の重要な産業です。

森林計画区の国有林位置図



森林計画内の森林資源状況



主要事業量(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

	伐採総量 (千m ³)			更新総量 (ha)		林道事業 (km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備 (ha)	保全施設 (箇所)
計画量	133	182	20	228	8	15	8	578	13

沖縄北部森林計画区の特徴

本計画の対象は、沖縄北部森林計画区を管轄区域とする国有林野11,964ha（不要存置林野6haを含む。）であり、このうち、4,398haは、沖縄県の基本財産の造成並びに県下林業の範を示すことを目的として、「沖縄の復帰に伴う農林水産省関係法令の適用の特別措置等に関する政令」（昭和47年政令第158号）第64条第1項の規定（以下「沖特令」という。）に基づき、沖縄県に貸付しているものです。この沖特令による貸付地は、沖縄県が県営林経営計画に基づき県営林として管理経営を行っています。

また、沖特令による貸付地を除く7,566haのほとんどは、米合衆国の沖縄北部訓練場として沖縄防衛局に使用承認している地域です。

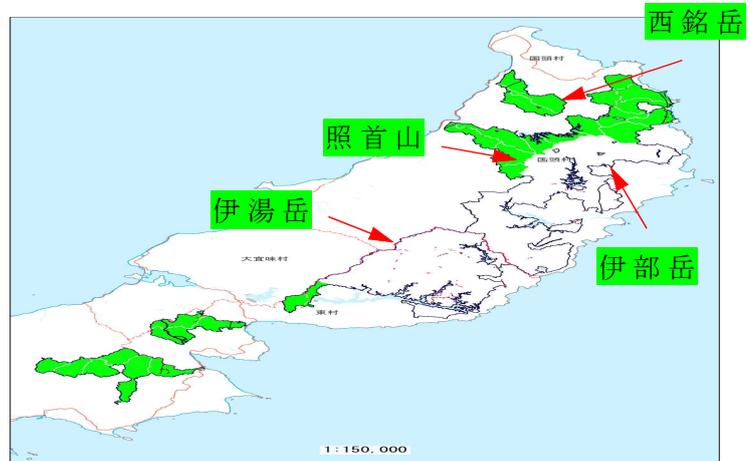
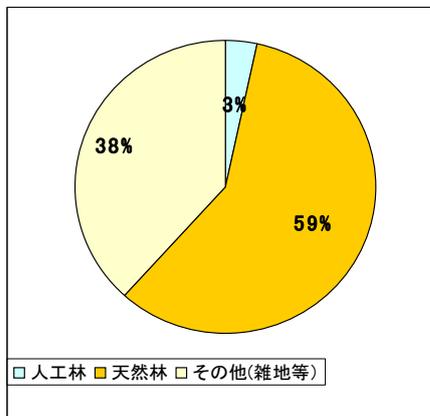
本計画区は、本島北部のほぼ中央部を北東から南西に連なる西銘岳(420m)、伊部岳(354m)、照首山(395m)、伊湯岳(446m)等の脊梁山地の太平洋側に面する長大な大団地を形成し河川は中央脊梁山地を水源に東西に走っており、国有林内における主要な河川となっている福地川、安波川、新川川及び普久川は、いずれも延長が短く集水区域も狭く地形は、谷が深く切れ込み起伏に富むとともに、標高100～300mにかけて丘陵性台地を形成し海岸まで迫っています。

森林の現況は、天然林が主体で6,960ha、人工林が415ha(育成単層林)となっており、主な樹種としては針葉樹はリュウキュウマツ、広葉樹ではシイ、カシ類などとなっています。林相は、スタジイ、イスノキ、タブノキ等の暖帯性樹種とリュウキュウマツ、イジュ、アデク等の亜熱帯性樹種が混交しています。高木層はリュウキュウマツ、スタジイ、イジュ、タブノキ、イスノキ等で、中低木層はイヌマキ、ヒメユズリハ、モッコク、ヤブニッケイ、ホルトノキ等で構成されており、一部にリュウキュウマツ人工林が散在しています。

本地域には、ノグチゲラ（国指定特別天然記念物、国内希少野生動植物種）、ヤンバルクイナ（国指定天然記念物、国内希少野生動植物種）、ヤンバルテナガコガネ（国指定天然記念物、国内希少野生動植物種）等貴重な野生動植物が生息・生育し、伊部岳周辺は鳥獣保護区特別保護地区に指定されているなど、これらの保護増殖のためにも自然環境の保全・形成を図ることが期待されています。

森林計画区の国有林位置図

森林計画内の森林資源状況



主要事業量(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

区分	伐採総量(千m ³)			更新総量(ha)		林道事業(km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備(ha)	保全施設(箇所)
計画量	-	-	1	-	-	-	-	-	5

地域管理経営計画等の変更(案)の概要

平成26年1月
九州森林管理局

変更する森林計画区（6計画区）

- 熊本県 「白川・菊池川」「球磨川」
- 大分県 「大分中部」「大分南部」
- 宮崎県 「一ツ瀬川」
- 鹿児島県 「熊毛」



【機能類型の変更】

熊毛計画区において、植物群落保護林の設定に伴う変更を行う。

単位：ha

森林計画区	区分	山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源かん養タイプ	計
熊毛	変更計画(案)	9,043	16,680	197	-	15,824	41,744

【伐採総量等の変更】

地球温暖化防止や健全で多様な森林の造成等の観点から、森林整備のための効率的な間伐等を推進するため、伐採総量等を変更する。

①伐採総量

単位：千m³

森林計画区	区分	主伐	間伐	臨時伐採
大分中部	現計画	26	178	11
	変更計画(案)	32	182	12

②更新総量

単位：ha

森林計画区	区分	人工造林	天然更新
大分中部	現計画	33	58
	変更計画(案)	71	58

③保育総量

単位：ha

森林計画区	区分	下刈	つる切	除伐	枝打	ぼう芽整理
大分中部	現計画	75	26	71	-	1
	変更計画(案)	88	22	63	-	1

【林道開設計画の変更】

健全で多様な森林の造成等の観点から、効率的な作業システムを構築するために林道の開設計画を変更する。

森林計画区	区分	開設	
		路線数	延長量(km)
白川・菊池川	現計画	10	26
	変更計画(案)	11	26
大分中部	現計画	13	20
	変更計画(案)	15	28
大分南部	現計画	17	28
	変更計画(案)	21	35

【フィールドの提供の変更】

国民の自主的な参加による森林整備活動等を推進するため、協定に基づくフィールドの提供を変更する。

森林計画区	区分	名称	面積(ha)
球磨川	現計画	-	-
	変更計画(案)	多様な活動の森	6
一ツ瀬川	現計画	-	-
	変更計画(案)	遊々の森	4

【保護林の変更】

保護林の新規設定をする。

森林計画区	区分	名称	面積(ha)
熊毛	現計画	植物群落保護林	20
	変更計画(案)	植物群落保護林	82